

日本腐植物質学会

第37回講演会プログラム

場所：滋賀県立大学（オンライン開催）
日時：2021年11月26日（金）～27日（土）

日本腐植物質学会 2021年度実行委員会
事務局：飯村 康夫

—大会1日目（11月26日）—

<実行委員会・事務局連絡>（10：00～10：05）

<会長挨拶>（10：05～10：10）

特別講演【座長：渡邊彰（名古屋大学）】

SP-1（10：10～11：10）

「腐植酸とフルボ酸の蛍光成分を追い求めて」

○青山正和（弘前大学農学生命科学部）

<休憩>（11：10～11：20）

口頭発表セッション1【OP-1～2 座長：布施泰朗（京都工芸繊維大学）】

OP-1（11：20～11：40）

「ゲル電気泳動を用いるアクチノイドイオンの配位を介したHA超分子錯体の化学量論の推定」

○中野純佳¹，丸茂和樹¹，原賀智子²，半田友衣子¹，齋藤伸吾¹（¹埼玉大・院理工，²日本原子力研究開発機構）

OP-2（11：40～12：00）

「南大洋の表層水中有機物（DOM、POM）の有機物組成と分布」

○瀬戸秀斗¹，山崎嘉美¹，竹原景子²，中國正寿³，山本修一¹（¹創価大学大学院・理工学研究科，²高知大学大学院・総合人間自然科学研究科，³香川大学・農学部）

<昼食>（12：00～12：50）

<総会> (12:50~13:30)

テーマ講演『琵琶湖水中における炭素循環プロセス』 (13:30~17:00)

【TP-1~3 コンビナー：早川和秀（琵琶湖環境研究所），眞家永光（北里大学）】

主旨説明 (13:30~13:35)

TP-1 (13:35~14:50)

「琵琶湖における溶存有機物の起源と消長：微生物ループを中心に」

・琵琶湖の溶存有機物の動態

○霜鳥孝一¹，今井章雄¹，岡本高弘²，山田健太²，尾原禎幸²，山本春樹²，石崎陽平²，七里将一²，中村光穂²，藤原直樹² (1国環研，2琵琶環研)

・琵琶湖における細菌生産の時空間変動

○土屋健司¹，富岡典子¹，佐野友春¹，小松一弘^{1,2}，今井章雄¹，高津文人¹，早川和秀³，永田貴丸³，岡本高弘³ (1国環研，2信州大，3琵琶環セ)

・琵琶湖におけるウイルスの動態

○沈尚^{1,3}，富永賢人²，土屋健司¹，松田知成³，吉田天士³，清水芳久³ (1国環研，2東大，3京大)

TP-2 (15:00~15:50)

「琵琶湖の水質と生態系の保全にかかる有機物循環の解析」

・溶存有機物の分子サイズ別分解速度と湖内物質循環への寄与

○山口保彦¹，霜鳥孝一²，今井章雄²，岡崎友輔³，尾原禎幸¹，中村光穂¹，七里将一¹，岡本高弘¹，早川和秀¹ (1琵琶環研，2国環研・琵琶湖分室，3京大・化研)

・動物プランクトンを中心とした食物連鎖について

○永田貴丸¹，山田健太¹，酒井陽一郎¹，岡本高弘¹，早川和秀¹ (1琵琶環研)

TP-3 (16:00~16:50)

「琵琶湖流域における生元素の動態」

・琵琶湖水中の鉄(II)の存在形態に与える溶存有機物の影響

○丸尾雅啓¹，小山和香^{1,2}，小畑元³ (1滋賀県大院・環境科学，2日本気象協会，3東大・大気海洋研)

・集水域から琵琶湖に流入する窒素化合物に対する土地利用と水文環境の影響

○尾坂兼一¹，田邊晴人²，佐藤祐一³，中村高志⁴ (1滋賀県大・環境科学，2滋賀県大院・環境科学，3琵琶環研，4山梨大・国際流域)

まとめ (16:50~17:00)

—大会2日目（11月27日）—

<実行委員会・事務局連絡>（9：20～9：30）

ポスターセッション【PP-1～8 LinkBiz】（9：30～11：30）

PP-1 「腐植物質の無機化速度と黒色度の関係及び生物分解による構造変化」

○藤井朱瑞，渡邊彰（名古屋大学大学院生命農学研究科）

PP-2 「発生ガス質量分析法及び多段階熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析法を用いたスコットランドピートの化学特性解析」

○武田直也¹，初雪²，布施泰朗³，木田森丸⁴，藤嶽暢英⁴（¹京都工芸繊維大・工芸科学，²京都工芸繊維大院・工芸科学，³京都工芸繊維大・分子化学，⁴神戸大院・農学）

PP-3 「食虫植物ムジナモの養分吸収に与える腐植物質の効果」

○トウシンヨウ¹，藤野毅²，金子康子³（¹埼玉大・院理工，²埼玉大・理工，³埼玉大・教育）

PP-4 「有機物中の還元硫黄が示すカルシウムシリケート水和物の生成阻害」

○戸田賀奈子¹，斉藤拓巳¹，大竹翼²，佐藤努²（¹東京大学工学系研究科，²北海道大学大学院工学研究院）

PP-5 「土着微生物による腐植酸の褪色に及ぼすアルミニウムとの複合体形成の影響」

○柳由貴子¹，金石昌子²（¹山口大・院創成化学，²山口大・農）

PP-6 「Humic acid modulates the toxicity of cadmium in the Freshwater Cladoceran; *Moina macrocopa*」

○Thilomi Samarakoon^{1,2}，Takeshi Fujino¹（¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Japan, ²Dpt. of Zoology & Environmental Mgt., Faculty of Science, University of Kelaniya, Sri Lanka）

PP-7 「森林土壌の炭素収支に対する溶存有機物の寄与：火山灰土壌を例に」

○久司雅登¹，飯村康夫²（¹滋賀県大院・環境科学，²滋賀県大・環境科学）

PP-8 「マングローブ土壌の炭素蓄積過程における溶存有機物及び細根の寄与：室内モデル実験による評価」

○芦田あかり¹，飯村康夫²（¹滋賀県大院・環境科学，²滋賀県大・環境科学）

<昼食，IHSS日本支部総会>（11：30～13：00）

口頭発表セッション2【OP-3～5 座長：寺島元基（日本原子力研究開発機構）】

OP-3（13：00～13：20）

「フミン酸共存下における幌延堆積岩へのEuの吸着挙動の評価」

○江口綾乃，紀室辰伍，天野由記，舘幸男（日本原子力研究開発機構）

OP-4（13：20～13：40）

「カチオン性鎖状高分子電解質を用いた微粒子凝集に対する腐植物質の阻害効果」

○山下祐司¹，リム ブーンファイ²，足立泰久¹（¹筑波大・生命環境系，²筑波大・院生命環境）

OP-5（13：40～14：00）

「滴定三次元蛍光分析を用いた河川底泥中有機酸の二価鉄の結合平衡解析」

○兒玉宏樹¹，吉田陸²，三宅逸暉²，鳥越雄太²（¹佐賀大学総合分析実験センター，²佐賀大学大学院工学系研究科）

<休憩>（14：00～14：10）

口頭発表セッション3【OP-6～8 座長：木田森丸（神戸大学）】

OP-6（14：10～14：30）

「固体三次元蛍光（SPF-EEM）分光法による粉体試料中の蛍光性NOMの定量」

○中屋佑紀¹，富田彩花²，落合光介³，山村寛²（¹北海道大・院工学，²中央大・理工学部，³中央大・院理工）

OP-7（14：30～14：50）

「河川中溶存有機物の動態からみた環境変動」

○川東正幸¹，アナトリー・プロクシュキン²（¹都立大・院都市環境，²スカチュエフ森林研ロシア科学アカデミー）

OP-8（14：50～15：10）

「中国東方地域の黒色土における腐植の蓄積形態」

川島和子¹，王 光華²，○渡邊 彰³（¹名古屋大学農学部，²中国科学院東北地理及生態研究所，³名古屋大学大学院生命農学研）

<表彰式、閉会挨拶>（15：10～15：20）